参加者の有無を確認する公募手続に係る参加意思確認書の提出を求める公示

平成２９年１１月２２日
支出負担行為担当官代理
気象研究所総務部長　内田 正治

1　当該招請の主旨

本業務は、当所が実施する放射能調査研究費「人工放射性核種のバックグラウンド大気監視と数値解析に関する研究」の一部である。本研究においては、つくば及び国内の他地点において採取した大気浮遊塵および降水・降下塵中の少量かつ、低濃度の人工放射性同位元素の測定を実施している。この中で、Cs-134 のγ線測定においては、精度の高いサム効果補正を行う必要があるため、平成 27 年度よりガンマ線解析ソフトウェアとして「P-SCAN」を採用することとし、一部の測定システムに導入した。今回、整合性を図るために、他の測定システムの PC（2 台）にも本ソフトウェアを導入し、分析業務の精度向上を図る。また、当所が所有するすべての Ge 検出器について、高精度の効率校正（当所が提供する測定データから効率関数を計算する）を行い、ソフトウェアに組み込む。

そこで、下記の応募要件を満たし、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加、意思確認書の提出を招請する公募を実施するものである。

応募の結果、４．の応募要件を満たすと認められる者がいない場合にあっては、本業務に必要な技術を有する法人（以下、「特定公益法人等」という）との契約手続きに移行する。

なお、４．の応募要件を満たすと認められる者がいる場合にあっては、一般競争入札方式による公告を行う予定である。

2　業務概要

（1）　業 務 名

ガンマ線スペクトル解析システムの構築

（2）　業務内容

気象研究所に設置されているガンマ線スペクトル測定装置用 PC2 台にガンマ線解析ソフトウェア「P-SCAN」の導入を行う。また、9 台のゲルマニウム半導体検出器について、気象研究所より支給されたフィルター線源と V8 容器線源（高さ 5 種）の測定データ用いて測定器毎に効率関数計算行い、同ソフトウェアに組み込む。

（3）　履行期限

平成 30 年 2 月 28 日

3　業務目的

気象研究所の微量放射能測定室に設置されている既有のガンマ線解析ソフトウェア

「P-SCAN」を測定系列の異なる PC2 台に追加導入し、データの整合性及び分析業務の精度向上を図る。

4　応募要件

（1）基本的要件

①　予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条及び第 71 条の規定に該当しないものであること。

②　平成 28・29・30 年度国土交通省（全省庁統一資格）「役務の提供等」において関東・甲信越地域の競争参加資格を有するものであること。

③　気象研究所から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

④　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省公共事業等から排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

（2）技術力に関する要件

①　当部が所有する、ガンマ線解析ソフトウェア「P-SCAN」の仕組みについて精通しており、システム構築・拡張に当たっての十分な技術力を有すること。

②　当該研究業務において低レベルの放射性核種測定が重要であることを理解し、Ge 半導体検出器及び信号処理装置に関する十分な知識と経験を有すること。

③　本業務を実施する技術者は電子工学・電気及び機械に関する十分な知識と経験を有すること。

④　本業務の執行にあたって、当研究所の研究業務に支障を与えないこと。

（3）中立性・公平性に関する要件

本公示対象のガンマ線解析ソフトウェアが、放射能調査の向上を目的とした研究に使用されることに鑑み、本業務の公益性について十分に理解し、公平かつ中立的な立場で本業務を実施できる体制を整えていること。

（4）守秘性に関する要件

①　当研究所から提供された資料は、監督職員の許可を受けた場合又は公開資料であることが明らかである場合を除き、本業務以外の目的で使用してはならない。また、貸与された資料は本業務終了後直ちに返却しなければならない。

②　本業務の実施によって知り得た研究上又は技術上の秘密や情報を利用又は漏洩してはならない。

（5）業務執行体制に関する要件

①　文部科学省放射能測定シリーズ「No.7 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に完全準拠し複合ピークの最尤推定によるフィッティングを用いたガンマ線解析プログラムを構築するために必要な業務執行体制が整っていること。

②　本業務の執行にあたって、当研究所の研究業務等に支障を与えないこと。

③ 本業務の執行にあたって、当研究所の研究施設等に損傷・障害を与えないこと。
④ 知的財産権法、その他関係する法令に従うこと。
⑤ 本業務を実施する技術者は、作業を行うために必要な能力を有すること。

（６）業務実績に関する要件
① ガンマ線解析ソフトウェア「P-SCAN」の導入した実績があること。
② 当部が保有する規模以上の精度なガンマ線解析ソフトウェアの開発または改修業務を行った実績があること。

5　手続き等
（１）担当部局及び問い合わせ先
① 公示及び説明書について
〒305-0052
茨城県つくば市長峰１－1
気象研究所総務部会計課用度係　近藤　尚人
電話 029-853-8568　ＦＡＸ 029-853-8571
② 技術力等に関する要件について
〒305-0052
茨城県つくば市長峰１－１
気象研究所　予報研究部　第四研究室長　財前　祐二
電話 029-853-8702　　ＦＡＸ 029-855-6936
（２）説明書の交付期間、場所及び方法
平成２９年１１月２２日から平成２９年１２月１１日まで　（１）に同じ。
（３）参加意思確認書の提出期限、場所及び方法
平成２９年１２月１２日　１６：００まで　（１）に同じ。
応募者は要件を満たす資料を作成し（書式は任意、但しＡ４版とする)、別紙「参加意思確認書」に添付のうえ、持参、郵送（書留郵便に限る）又は電送（事前に（１）へ連絡を入れること）すること。
なお、上記期限までに到着しなかった場合は、当該参加意思確認書は無効とする。
（４）応募要件を満たした場合
参加意思確認書の審査において応募要件を満たした者は、書面にて通知を行うとともに、一般競争入札に移行するものとする。
（５）応募要件を満たさないとされた理由の説明
① 参加意思確認書の審査において応募要件を満たさないとの審査結果の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して７日（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）第１条に規定する行政機関の休日を除く。）以内に書面により、契約担当官等に対して応募要件を満たさないとされた理由についての説明を求めることができる。
② 契約担当官等は、応募要件を満たさないとされた理由についての説明を求められたときは、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して１０日以内に書面により回

答するものとする。

（６）その他

① 参加意思確認書の作成及び提出に係る費用は提出者の負担とする。

② 提出された参加意思確認書は、参加意思確認書の審査以外に提出者に無断で使用しない。

③ 一旦受理した参加意思確認書は返却しない。

④ 一旦受理した参加意思確認書の差し替え及び再提出は認めない。

⑤ 参加意思確認書に虚偽の記載をした場合は、当該参加意思確認書を無効とするとともに、虚偽の記載をした者に対して指名停止を行うことがある。

６ その他

① 手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。

② 関連情報を入手するための照会窓口は、５（１）に同じ

③ 一般競争方式による公示を行うこととなった場合、その旨後日通知する。

④ ４（１）②に掲げる一般競争（指名競争）参加資格を有していない場合も５（３）により参加意思確認書を提出することができるが、本件が一般競争入札による公告を行うこととなった場合で当該入札の競争参加資格確認申請を行う場合には、当該資格を有していなければならない。

⑤ 詳細は説明書による。